

安部巖先生を偲ぶ (弔辞)

安部巖先生。先生は五日前、七月七日の別府市退職校長会総会には、元気なお姿で出席され会員の皆様と楽しく歓談されておられましたの……。

突然の訃報に接し、驚きと悲しみで一ぱいでございます。

「生者必滅会者定離^{えしやじょうり}」とはいえ、まことにはかない人の定めをしみじ

みと痛感しております。

先生は昭和十九年九月大分師範学校を優秀な

成績でご卒業になり、亀川小学校を皮切りに市

内の各小学校に、

また図書館・美



▲市教育界の元老として、会長弔辞を読み上げる荒金進先生 (1989. 7. 12)

術館に勤務されました。そして、御逝去される直前まで学校教育・社会教育の推進・発展にご尽力下さいました。なかでも学生時代から始められた郷土史に関する研究は、貴重な資料として残されるだけでなく、教育活動の各面でも子供に生かされるよう努力されました。

終戦の翌年、昭和二十一年から三年間は私と一緒に西小学校で働きました。そのころは、社会科を中心にしたコ・ア・カリキュラムによる教育が叫ばれていましたが、安部先生は身近な「郷土別府」にウェイトをおいた学習指導に力を注がれました。

また、昭和二十七年に青山小学校に転任されてからは「基礎学力向上」の指導に力を入れるかたわら、担任した六年生児童と一緒に『別府郷土風土記』の編集をされました。

昭和三十三年から、四五年の一〇年間は社会科指導員に補され、各校社会科主任と協力し別府市社会科教育の充実発展の推進役となりました。

昭和四十四年十一月には、境川小学校・中部中学校を中心に「全国統計教育研究大会」が開催されましたが、その全体会場となった観光会館で「北に広がる別府」を

テーマにクラブ活動の研究発表をされ、会場をうめつくした全国各地の会員に多くの示唆をあたえました。

昭和四十六年から三年間、別府市教育委員会指導主事に、四十八年には朝日小学校教頭に、五十一年四月には石垣小学校の校長に抜擢され、熱心な学校経営により多くの業績を残されました。

昭和五十二年に南小学校校長に着任されてからは、伝統ある算数教育の研究と、創立百周年の記念行事を中心とした学校経営をされ『南小学校百年誌』の刊行をされました。

南小学校校長を退職されてからも図書館長・美術館長として館の資料整備をしながら『別府市誌』編集委員としても活躍されました。

その後も、文化財調査委員・家庭教育学級・長寿会・老人クラブの講師として、郷土史の分野で解り易い講演をされ、受講生から喜ばれておりました。

また『別府温泉湯治場大事典』等の著書は十数点、ガリ版ずりの資料の出版物は数十点におよび、若いころから集められた各学校の研究物、戦前・戦後の教科書・郷土に関する資料は、自宅に設立された「別府教育史料館」

に納められていますが、別府はもとより、県・国の貴重な資料として教育者や郷土史研究家に活用され大切に保存されることと思います。

このような、たゆまない郷土史研究によせるご努力は大分師範学校長をはじめ県・市教育委員会・別府市長・大分県知事から認められ、多くの表彰を受けておられます。

先生の六八年の人生はまさに学校教育・社会教育、とりわけ郷土史研究ひとすじに生きられた栄光に輝く生涯でございました。

先生のお子さんには教育界で活躍中のご長男浩之さんやお嬢さんがおられます。奥様も先生の研究熱心な、そして、やさしい面影を胸に、立派なお子さんに見守られる余生を送られることと思います。

安部巖先生、どうか、後顧の憂いなく安らかにお眠りください。

心からご冥福をお祈り申し上げ、弔辞といたします。

平成元年七月十二日

別府市退職校長会

会長 荒金 進